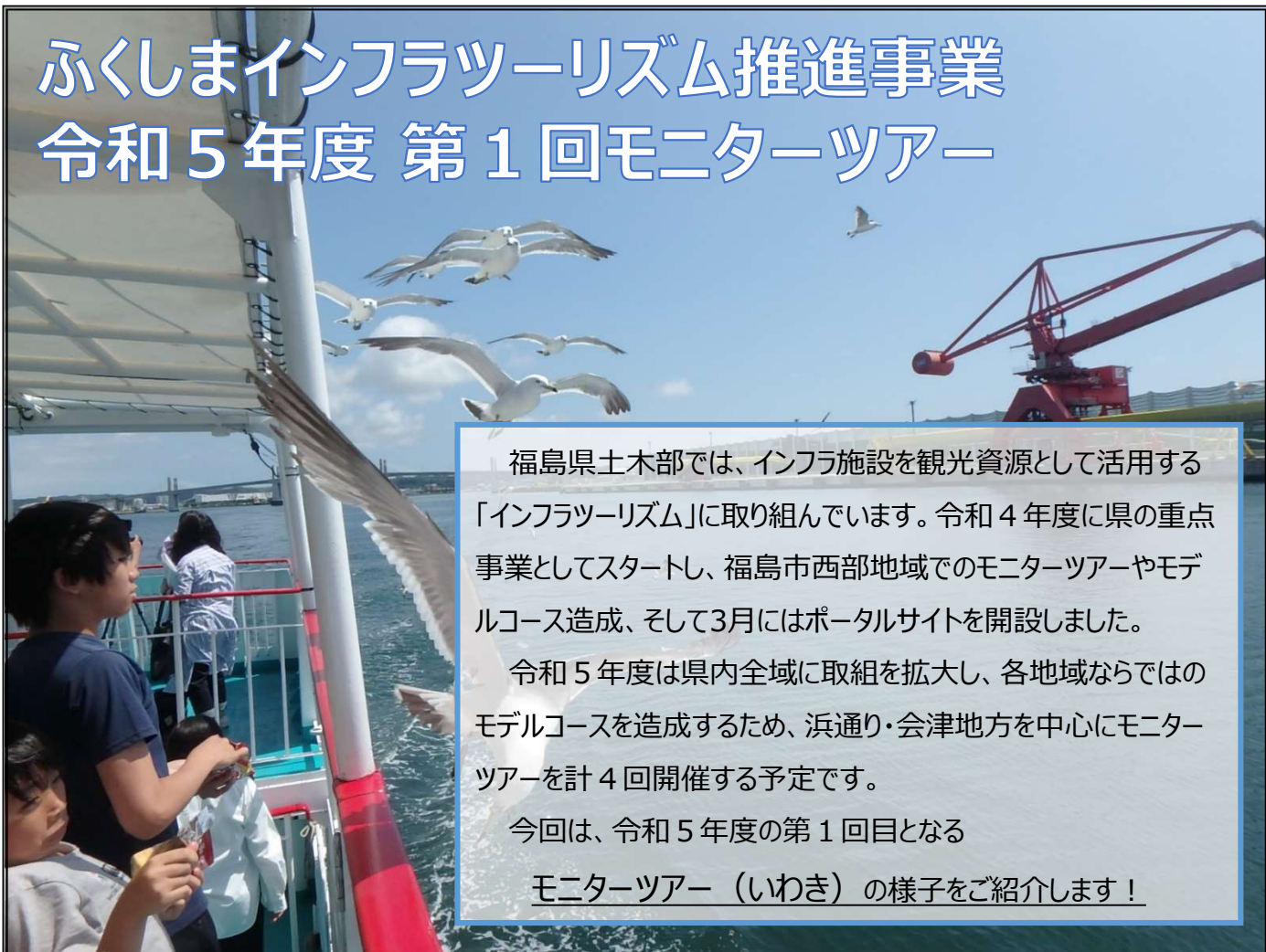


まちづくり瓦版

～うつくしま、まちづくり推進レポート～

Vol.85 令和5年8月18日発行

ふくしまインフラツーリズム推進事業 令和5年度 第1回モニターツアー



福島県土木部では、インフラ施設を観光資源として活用する「インフラツーリズム」に取り組んでいます。令和4年度に県の重点事業としてスタートし、福島市西部地域でのモニターツアーやモデルコース造成、そして3月にはポータルサイトを開設しました。

令和5年度は県内全域に取組を拡大し、各地域ならではのモデルコースを造成するため、浜通り・会津地方を中心にモニターツアーを計4回開催する予定です。

今回は、令和5年度の第1回目となる

モニターツアー（いわき）の様子をご紹介します！

【実施日】

令和5年7月22日（土）～23日（日）

【場 所】

いわき市、榎葉町

【参加者】

県内外の10代から50代までの10名

（男性5名、女性5名、内お子様3名）

県のホームページ、JTBのメルマガにより、一般のモニター参加者を募集しました。



【概要・行程表】

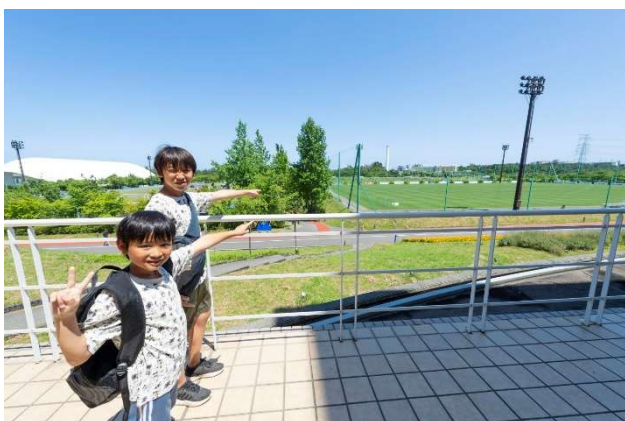
時間	行程（案）	実施内容
11:20	いわき駅（発）	
12:00 13:00	Jヴィレッジ	レストラン昼食～復興の歩み
13:20 15:20	木戸ダム（県）	監査廊見学30分・湖上カヤック体験90分
15:50 16:20	道の駅ならば	ポケふた
16:50	ホテルハワイアンズ（泊）	
09:00	ホテルハワイアンズ（発）	
09:30 11:00	小名浜港湾 （国・県・民間）	小名浜デイクルーズ
11:00 12:20	アクアマリンふくしま	 ふくしま建築探訪
12:30 13:30	いわき・ら・ら・ミュウ	自由昼食・お買い物
14:20	いわき駅	アンケート回答



①Jヴィレッジ

Jヴィレッジでは、スポーツの利用以外にも震災からの学びや気づきを得られる場としての活用が進められています。館内では、1997年のオープンからの賑わいの様子、原発事故収束拠点となり営業休止していた時期、そして全面再開までの歩みを壁画に描いた「J-VILLAGE STREET」を一般公開しており、Jヴィレッジや地域の歴史を知ることができます。

今回のツアーでは、スタッフの方から震災当時の経験やその後の復興の状況などについてお話をいただきました。



②木戸ダム

木戸ダムは、昭和46年の台風による大雨で木戸川が氾濫し、川沿いの道路や橋が流されたことをきっかけに計画・建設されました。平成20年3月に完成し、洪水の調節をするほか、飲料水や工業用水、農業用水等に必要な水を安定して確保します。そして、ダム下流の堰より取水し、双葉地方の5つの町（広野町、楢葉町、富岡町、大熊町、双葉町）で利用しています。

今回のツアーでは、ダムの中にある「監査廊」の見学、ダム湖でのカヤック体験を通じて、普段は経験できない様々な視点でダムの魅力を楽しみながら、ダムの機能や役割を学ぶことができました。



▲ペットボトルを用いたダムの構造の説明



▲監査廊見学



▲ダムフレームで写真撮影！



▲カヤック体験前の地上レッスン



▲カヤック体験

参加者の声

- ・ なかなか見られない施設内部をゆっくり見学することができた。
- ・ 模型などを用いた解説がわかりやすかった。
- ・ カヤック体験は初めてだったが、わかりやすくレクチャーしてもらい、楽しむことができた。

③小名浜港

小名浜港では、クルージングでカモメとのふれあいや海上からの小名浜港の様々な景色を楽しんでいただきました。

小名浜港には、平成4年から27年間にわたり海上遊覧船が運航していましたが、東日本大震災等の影響により平成31年に廃業しました。しかし、地元企業らが共同出資する「小名浜デイクルーズ」を設立したことで令和3年に観光遊覧船「サンシャインガール」ができました。クルージングでは、船内放送で小名浜港の歴史や施設の紹介を聞くことができます。



▲カモメのえさやり



▲海上からの小名浜マリブリッジ



▲いわき・ら・ら・ミュウの売店で購入出来る
メカリの唐揚げ

参加者の声

- ・ゆっくりと海上から小名浜を見ることができた。
- ・カモメのえさやりが楽しかったし、景色が最高に良かった！
- ・小名浜港にいくつもの港があることを知れた。普段見ない目線から海を見たり、カモメと触れ合えるところが面白かった。

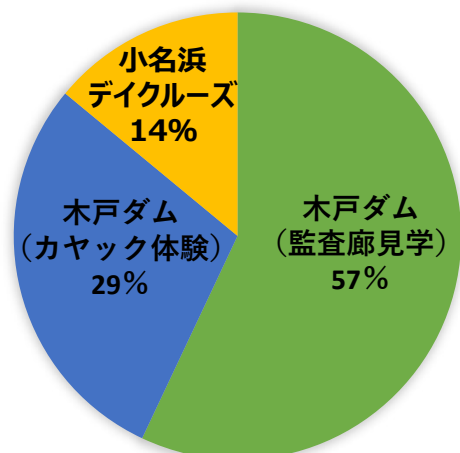
④モニターツアー全体について

【ツアー行程】

インフラ施設のうち最も満足度の高かったプログラムは「木戸ダムの監査廊見学」でした。

参加者の声

- ・通常のツアーでは体験できない場所だから。
- ・なかなか入ることのできないダムの内部を見学することができたため。



【必要な工夫・アイデア等】

- ・ ただ施設を見学をするだけでなく、カヤック体験など自分の体を動かす活動があるとより一層楽しむことができると思う。
- ・ 何か製作できる機会があると嬉しかった。

【参加した印象】

- ・ もっと施設の説明が多めの堅いイメージのツアーを予想していたが、通常の観光ツアーのように楽しめた。各施設への興味関心も高まったので、非常にいい取り組みだと思う。
- ・ 事前にガイドのような冊子・メール等があれば、理解も深まり、その場所に愛着なり更に理解が深まると思う。

📌 今後のモニターツアー

- ・ 第2回モニターツアー（南会津）令和5年9月9日（土）、10日（日）
（～大川ダム、下郷大橋、大内宿など～）
- ・ 第3回モニターツアー（相双）令和5年10月中旬
- ・ 第4回モニターツアー（会津）令和5年10月下旬

📝 編集後記 📝

今回のモニターツアーでは、主なターゲットである首都圏からの家族参加を想定し、集合・解散時間に余裕を持たせたり、大人も子どもも楽しめる体験を取り入れるなど、将来的な自走化（ツアー商品化）を意識した構成としました。

インフラ施設を見るだけでなく、ここでしかできない体験を入れることで、ツアー全体の満足度が高く得られることがわかりました。さらに、模型を使った説明や専門用語を使わないわかりやすいガイドも高評価ポイントとなりました。

今回のアンケート結果などを踏まえ、引き続き、県内のインフラツーリズムの推進に取り組んでまいりますので、インフラ施設を活用したい取組や連携したいイベントなどがございましたら、ぜひ当課までお問い合わせください。

モニターツアーの様子が福島中央テレビの番組（ゴジてれ Chu!）で取り上げられましたのでぜひご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=BG7mUoGuaGg&t=1s>



ふくしまインフラツーリズム
ポータルサイトはこちら

【まちづくり瓦版発行元】

福島県土木部まちづくり推進課

○TEL 024-521-7511

○FAX 024-521-7956

○e-mail

machizukuri@pref.fukushima.lg.jp

○URL

<http://www.pref.fukushima.jp/machi/>